

グザヴィエ・ドラン × ブルース・グリーンウッド  
「トム・アット・ザ・ファーム」 「スター・トレック」

失踪した精神科医と、  
愛を渴望した一人の青年マイケル。  
グザヴィエ・ドランが  
「これは僕だ」と出演を熱望した心理劇

# エレファント・ソング

Elephant Song

監督: シャール・ビナム / 原作、脚本: ニコラス・ピヨン / 撮影: ピエール・ギル / 編集: ドミニク・フォルタン /  
出演: グザヴィエ・ドラン (『トム・アット・ザ・ファーム』)、ブルース・グリーンウッド (『スター・トレック』)、キャサリン・キーナー (『カボチイ』)、キャリー＝アン・モス (『マトリックス』)、  
ガイ・ネイドン、コルム・フィオール、ほか (2014/カナダ/100分/シネマスコープ/DPC) ©Sébastien Raymond 配給・宣伝: アップリンク / 特別協力: ケベック州政府在日事務所 / 後援: カナダ大使館

カナダ・アカデミー賞  
脚本賞受賞作品

SEVILLE INTERNATIONAL presents BRUCE GREENWOOD XAVIER DOLAN CARRIE-ANN MOSS and CATHERINE KEENER  
A Film by CHARLES BINAMÉ Written by NICOLAS BILLOU produced by RICHARD GOUDREAU SEVILLE INTERNATIONAL presents a production by MELLENSY PRODUCTIONS with BRUCE GREENWOOD XAVIER DOLAN CARRIE-ANN MOSS GUY NADON COLM FEORE and CATHERINE KEENER  
casting LUCIE ROBITAILLE ADQC DERRIERE BOWEN HEIDI LEVITT CSA costume designer GINETTE MAGNY production designer DANIELLE TARDIF sound CLAUDE LARHAY hair and makeup JUDY BEAUGRAND LUC BOUDRIAS PATRICIA LONDE post-production supervisor KIMBERLEY PICARD  
music composer GAËTAN GRANGE PATRICE DU BUC editor DOMINIQUE FORTIN director of photography THIERRY GELLY art director NICOLAS BILLOU  
produced with the participation of

TELEFILM Québec Cinéma UDFOLBY IZOLBY





ある日、有名なオペラ歌手である母が死んだ。  
ぼくは死にゆく母の手をとり、  
母が教えてくれた「ゾウの歌」を歌い続けた。

マイケルは美しい青年だった。14歳のときオペラ歌手である母が目の前で自殺し、その後、現在に至るまで精神病院に入院している。彼は病院で一番の問題児とされており、ゾウにまつわるあらゆることに異常なまでの執着を示していた。

ある日、彼の担当医であるローレンスが失踪した。手がかりを知るのはマイケルだけ。マイケルのことをよく知る看護師長のピーターソンは「マイケルは決して真実を話さない」と助言するが、院長のグリーンは彼に事情を聞く

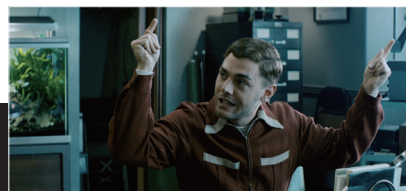
ことを試みる。すると、話をする代わりに、と彼は条件を提示した。

グリーンは条件を飲むが、マイケルはゾウやオペラについての無駄話で、話をそらすばかり。

「母を殺した」「ローレンス医師から性的虐待を受けていた」など、嘘か本当かわからないようなことをほのめかす。いつしかグリーンはマイケルの巧妙な罠に取り込まれていった…。

### 3つの条件

1. 僕のカルテを読まないこと。
2. ご褒美にチョコレートをくれることを約束すること。
3. 看護師長をこの件から外すこと。



## 精神病棟で巻き起こる心理戦。そして胸締めつけられる驚愕のラスト。

世界を魅了する美しき俊英グザヴィエ・ドラン。監督だけに留まらず、俳優としても評価の高い彼が脚本を読んで「マイケルは僕だ。この役を僕に演じさせてほしい」と出演を熱望した本作は、ドランの前作『トム・アット・ザ・ファーム』と同様に戯曲を原作とする心理劇で、人々を翻弄しつつも痛々しいまでに愛を求める青年マイケルをグザヴィエ・ドランが熱演。『スター・トレック』のバイク

提督役でも知られ、アトム・エゴヤン監督作品の定連でもあるカナダの名優ブルース・グリーンウッド、『マルコヴィッチの穴』『カポーティ』で2度のアカデミー助演女優賞にノミネートされたキャサリン・キーナー、『マトリックス』で脚光を浴びたキャリア＝アン・モスなど、名立たる名優たちと共に緊張感あふれる会話劇を展開し、俳優としての底力を見せつけた。

# 6月6日(土)公開



劇場窓口にて  
「だれも知らないマイケルの孤独」  
ポストカードセット付  
特別鑑賞券発売！(数量限定)  
¥1,500(当日一般¥1,800のところ)

JR新宿駅中央東口 ビックロ裏 武蔵野ビル3F

## 新宿武蔵野館

03(3354)5670 / shinjuku.musashino-k.jp

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

## 川崎市アートセンター

044(955)0107 / kac-cinema.jp

渋谷東急本店右側道200m先

## 渋谷アップリンク

03(6825)5503 / www.uplink.co.jp

京浜急行線 黄金町駅下車 徒歩5分

## 横浜シネマ・ジャック&ベティ

045(243)9800 / www.jackandbetty.net